

防空壕（シェルター）製造設置を

提案内容	<p>今年も正月早々能登半島大地震で被災された方が学校、公民館、農業ハウス、自家用車の中で避難寝泊まりした画面がTVに映し出され、被災された方は大変な事でしょう。私達が住む雲南市でもいつ災害が起こるかわかりません。雲南市には建設会社が数社あります。3年前の飯石地方の災害工事も建設会社様のご努力により終わりつつあります。雲南市は真砂土山の埋蔵量が多い地域です。当地は農業以外にはこれと言った産業はありません。真砂土を活用したシェルター（昔は防空壕）の製造設置を考えられてはどうでしょうか？土地所有者に限られますが、いざという時地下の避難が最適であると考えます。4畳間位の簡易住居です。少々の備品設置でも10日間位は暮らすことが出来ると思います。災害からの備えとして、御ご検討されたらと思います。</p>
回 答	<p>地震対策に対するご提案ありがとうございます。</p> <p>令和6年能登半島地震では大きな揺れによる住宅の損壊など多数の被害が発生し、避難所で生活されている方も多数に上っています。市といたしましても当地への人的支援などを通じて一日も早い復興を支援しております。また、本地震を教訓として震災対策も向上させて参りたいと考えているところです。</p> <p>雲南市では、風水害で土砂崩れや浸水など危険な状況が予想される時や地震が発生した際には避難情報を発令し、合わせて安全な避難所を開設することとしております。地震の際は耐震基準に適合した安全な指定避難所を開設することになります。強固な地下シェルターは避難場所としては有効と考えられますが、市といたしましては、現在の指定避難所の環境改善に努めているところですのでご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>また平時より在宅避難や親せき・知人宅など安全な避難先をご確認いただきますようお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">（回答部署：防災部防災安全課）</p>